

会社の設立・登記、公証役場、税務登録、年金事務所登録

● 要点

【会社設立時のポイント】

- 会社をつくること＝社会的な責任を負うこと
- 会社設立の意義、その結果生じる義務、を理解することが肝要

● 解説記事（全文）

- さて、事業の軸（事業のセンターピン）ができると、個人事業主でなく、会社を設立することなどを検討していきます。**会社となると、もろもろ準備が必要**となってきますが、どんなメリットとデメリットがあるのでしょうか？
- メジャーな法人形態である、「株式会社」設立時の、**メリット/デメリットを整理**してみます。

【メリット】

- ・ 社会的信用が高い
- ・ 返済不要な資金を調達できる
- ・ 節税効果が期待できる
- ・ 出資額を超えて損失は負わない

【デメリット】

- ・ 設立に費用がかかる
- ・ 決算公告の義務を負う
- ・ 役員の任期がある
- ・ 赤字でも法人住民税を納税しなければならない

● 解説記事（全文）

- 少し解説を加えます。
- 要すると、法人化する際に、①事業の核があること、②自分一人では実現できない事業内容を理解していること、③信頼できる仲間がいること、④その仲間と一緒に事業推進していく覚悟があること、がはっきりしていると良い、と思っています。
- そして、法人設立には、**メリットがある一方、デメリットもある点をしっかりと理解しておく必要**があります。すなわち、**守らなければならないルール（社会的な義務）が生じる**ということです。
- インターネットが普及した現代社会において、いろいろと便利なサービスがあります。
 - ・ **土業の先生**に書類作成/登記手続き等をお願いして会社を設立する
 - ・ **SaaS(Software as a Service)**を活用して自分で会社を設立する
- それゆえ、**デメリットを理解せず、メリットのみに魅了を感じ会社を設立すると、果たすべき義務を放棄しているなど、社会的な責任を果たすことができない、ということも起こりえます。**

● 解説記事（全文）

- 少額の出資金で法人設立をしたとしても、「**事業のコア**」がしっかりしていれば、**金融機関等から融資を受ける（お金を借りる）**こと、**共同で事業を行う**ことも可能になります。
- **法人格を持つと**、個人事業主とは違う関係性を構築することも可能になります。すなわち、**集団/組織として、相手方と「契約」などの法的関係性を構築できる**、ということです。
- **会社をつくることは、社会責任をよりもって、対応しないといけないので、その意義とやらないといけないことを理解することが肝要**です。
- また、**公証役場、税務署、年金事務所**など、従業員として働いていたときには、意識したこともない**公的機関とのやり取りも増えていきます**。
- それぞれ、社会的な責任を果たすために、**重要な書類のやり取りするカウンターパートとなります**ので、具体的には、いつ、どのようなやり取りをすべきか、Biz羅針盤で学んでいきましょう。